

2012(平成24)年5月16日

館外講座だより13



第26回目のバスツアーは、関東平野眺望の第3弾として栃木県北部を訪れました。那須火山群は、日光火山群・高原火山の北部に連なり、標高1915mの茶臼岳を主峰とする南北約25kmに及ぶ6つの火山体の総称です。火山活動は約50万年前から始まり、西麓には火山性扇状地である那須野ヶ原が形成されました。河川が伏流し、水が得にくい那須野ヶ原の開発は、江戸時代から第二次世界大戦後まで継続されました。また那須人車の存在も知られています。火山山麓の開発史と現況、首都圏及び東京低地との関連を学びましょう。

◆那須野が原博物館

みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数)です。



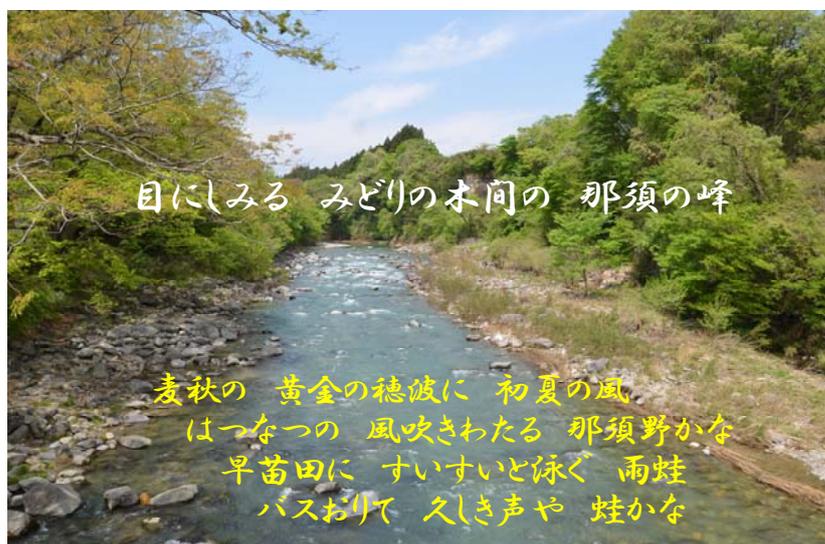
館長 金井忠夫さんの説明 お忙しいところありがとうございました！

- 複合扇状地と開拓の歴史(人車鉄道を含む)が良くわかりました(初参加、その他多数)
- 旧華族が開拓の中心者であったことが興味深かった。NHK TVの「開拓者たち」の舞台になった「千振」をバスでと通ったらなおよかった(2回目)
- 堰を作らないと用水路が引けないし、堰を作ることがむずかしいことがわかった。宇宙に出会えるとは思わなかった(2回目)

- 詳しい説明を受けることができ、よく理解できました(7回目)
- 那須野が原用水が日本の三大用水で国の定めたもので有ると言う事を知りました(初参加)。
- 鉄道に興味があったのでよかったです(初参加)

◆山麓の河川景観(那須塩原大橋付近)

- 水の無い時が多いといわれる蛇尾川も前日の多雨の影響で水有り河に！ 次に通った河(名は何だっけ?)は真に石コロごろごろの水無し河！ 地形の成り立ちからくる自然のおもしろさを実感！(2回目)
- 川底が浅く水も澄んでいてきれいで、荒々しい火山の帯の山麓とは思えませんでした(初参加)。
- あ～、砂礫に川がすいこまれていく！！ この現象、もしかして玉藻前の○○・か！？(12回目)
- 川底が浅く水も澄んでいてきれいで、荒々しい火山の帯の山麓とは思えませんでした(初参加)
- 帰路のバスから枯れた川が見えました。すごい吸水力ですね。よかった！(5回目)



那珂川：恒明橋

◆那須ロープウェイ（強風25mのため運転中止）

○残念でした（全員）、**以下、残念を前提に・・・（笑）**

○地層をみれるかと思っていたら、それどころではなかった。が、噴火で積もったところはよく判った

（2回目）

○残雪のある山々がみられてOK!

（初参加）

○昨年茶臼岳山頂に登頂したのできつい道を思い出した（2回目）

○空気がさわやか、7合目から300mの



風があ・・・



那須岳や 拒みおりたる 青嵐

風さわぐ 那須高原に 吾れ立ちぬ

高さを眺める（3回目）

○写真屋さんの楽しいトークにいやされました（17回目）

●以前5月に三斗小屋温泉にいった時、峰の茶屋で風が強く、ヒドイ目にあったことがある。それを考えるとこの時期にこんなこともあることはある程度想像できました（3回目）

◆那須高原ビジターセンター

●きれいな施設、廻りのつつじも見られ満足（6回目）

○新しく木のかおりがして立派な建物（3回目、ほか多数）

●自然いっぱい気持ち癒された（7回目）

○展示からスタッフの一生懸命さや優しさが感じられ、こち良さ一杯のひとときでした。スタンプ台の色選びに一考を望みます（2回目）



笑顔が素敵な増子博美さん



○高原の花々を見て感動した（初参加）

○スタンプを押す事にかまけて見学がおろそかになり反省しています（初参加、ほか若干名?）

○那須の自然環境と歴史がよくわかり、旅するところをくすぐる（12回目）

○高原の様子を伺え、スタンプラリーに夢中になっている私の姿がこっけいでした（7回目）

◆殺生石

○きれいな青空と殺生石とのコントラストが美しかった（初参加）

○九尾の狐のお話を詠みかえし、鳥羽院のことも今ドラマでやっているのわかりやすいです。乃木神社もあるし、御用邸も一部環境省に移され、前天皇が植物にくわいなので見学したい場所です（3回目）

●以前とは違い整備が進んで昔の荒涼とした状況が見られませんでした。玉藻前九尾の狐の伝説等、昔話を思い出すことができました（3回目）



玉三の
舞台浮かぶや
夏浅し

- 予定外の時間で温泉神社経由の散策が仲間と笑い乍でとても楽しかった。ここでロープウェイへのうらみが消えた (2回目)
- 那須には何度も旅しているがはじめて訪れた。少々気味悪いいわれの石。風景全体が石のいわれを盛り上げているようだった (7回目)
- いろいろと伝説が楽しめました (初参加)
- 近くにいき死ぬかと思ったが、キツネが出てきて助かりました。温泉神社にも句碑や大木などみるものがありよかったです (初参加)
- 何年か前のときより殺風景でした (7回目)
- 以前と様変わりして歩きやすくゆっくり廻れました (17回目)
- 石の封印も恐いが、立看板のガス発生注意も恐かった (2回目)
- 富澤さんの「九尾のきつねと殺生石」解説、大変よかったです (2回目)
- 鹿の湯に入湯したかったが温泉の臭いをかいで、入口の写真をとって帰ってきました(※橋本さんにおいていくぞ!とおどかされたため、ほんとうは15分くらい入れた) (3回目)



千体地藏から温泉神社をのぞむ

◆その他・自由欄

- 16才から山歩きをしていたので、山も川も木も花もみんな気になります。甲子温泉で行止りだったのに、今はトンネルで大内宿に抜けられるのですね。でも行止りのさびれた湯治場の時が懐かしくよかったです (3回目)
- 普段は何げなく見ている土の層が色々説明を受けて再認識させられました (初参加)
- 自然が作った埋立地が関東平野 (だから平野なのだ) ということに驚いた。プレートといわれて何となくきいていたが、火山が連なっていることをみせられると実感がわく (2回目)
- 遅れ桜に薄紅つつじ、新緑の色とりどりの緑に迎えられ素敵な一日でした (2回目)
- 昼食の食堂がおそくて食べきれませんでした (3回目)
- 今日は川の名前をしっかりと覚ええましたよ (7回目)
- 五月晴れの日、光り輝く新緑、色彩りそえるつつじ、心洗われる一日でした (7回目)



御神木「生きる」
樹齢推定 800年のミナナ

ツアー後記

新緑に洗われた清々しい空気に癒された1日でした。バスの標高が増すにつれ、季節の逆行を感じました。それにしても自然は無常・・・、残雪残る山頂駅を見上げました。

秋の展示「東京低地災害史」に向けて東奔西走中のため、遅れに遅れたバスツアー通信、梅雨明けの待ち遠しい時期にお届けいたします。東日本大震災から16ヶ月目、依然として被災地の先行きは不透明です。夏の環境学講座は8月25日「福島いま - 被災資料救出の現場から -」を予定しています。私たちは、現在進行中のことを、しっかり見守り、知り、伝えていきたいと思います。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
7:30	博物館出発	
7:49	四ツ木IC	
8:04	川口JCT	
8:45	佐野SA	12分
9:53	西那須野塩原IC	
9:55	那須野が原博物館	52分
11:17	那珂川恒明橋	13分
11:35	道の駅友愛の森 (昼飯)	53分
12:51	那須ロープウェイ山麓駅	33分
13:40	那須高原ビジターセンター	34分
14:16	殺生石	42分
15:18	那須IC	15分
15:46	上河内SA	28分
17:28	川口PA	
18:00	四ツ木IC	
18:15	博物館着	
内山観光バス:フェニックス号		
ドライバー:小貝享史さん		
走行距離: 395 km (倍率1.9倍)		
応募90名、当日参加47名		
参加費2910円/見学実費250円		



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>